

医療機器でアジア進出

松阪市大口町の三重化学工業(株)(山川大輔代表取締役社長)は「Challenge Everything(何事にも挑戦する)」を合言葉とする。「10年後、20年後のために、そしてそれからも」と先の未来のために何事にも挑戦することが大切。挑戦せずして成長はありません」と山川社長(46)。

2005年以降、医療機器分野に進出。昨年はフェムテックブランド「Lulle(ラルル)」を立ち上げ、冷温兼用のジェルを使用した女性のため



スノーバック(真ん中)やクール(左下)などの製品

三重化学工業株式会社(大口町)

多様な人材と共創

のケアグッズシリーズを展開。昨年9月には、タイの首都バンコクで開かれた医療機器の国際見本市「メディカル・フェア・タイランド2023」に出展した。

名。多様性とコ・クリエイション(共創)を掲げ、年代も性別も国籍もさまざまな人材が集うオープンイノベーション・スペースとして「ミエラボ(ミエ・ケミカル・インダストリー・ラボラトリー)の略」という概念を打ち出した。本社内



メディカル・フェア・タイランド 2023の三重化学工業のブース

のミエラボの拠点空間は、一昨年度のグッドデザイン賞を受賞した。

2021年には韓国への輸出に向けてのプロジェクトを立ち上げ、またさらなる海外進出の足掛かりとして出展したのが「メディカル・フェア・タイランド2023」。アジアのハブ、タイのBITTEC(バンコク国際貿易展示場(ハイテック))で世界28カ国から643企業を集めて開かれた。

三重化学工業のブースには、アジアを中心に19カ国から60人のディーラーやバイヤーが集まった。山川輝専務取締役(36)は「日本人の体のサイズに合わせて開発してきたので、まずは(体形が似ている)アジアの国々に売り出したいと意気込む。

会社 Memo



1956(昭和31)年創業。作業用手袋、保冷剤、医療機器、フェムテック商品などを製造販売。経産省の「地域未来牽引企業」「中小企業庁の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」「三重のおもてなし経営企業選」などに選定。